

令和7年

第2回市議会定例会 意見書案第8号

米の安定供給や食料支援の緊急対策を求める意見書

上記の意見書案を函館市議会会議規則第13条第1項の規定により提出します。

令和7年6月9日提出

函館市議会議長 金澤浩幸様

提出者	函館市議会議員	富山悦子
同	同	市戸ゆたか
同	同	紺谷克孝

米の安定供給や食料支援の緊急対策を求める意見書

昨年から続く米価の高騰は、備蓄米が放出された後も続いています。農林水産省が公表しているスーパーでの販売価格（4月時点）は、5kgで4,000円を超え、前年同時期で約2倍という高値が続いています。このような事態に多くの国民が悲鳴をあげています。

また、米価高騰の長期化により、寄付で集めた食料品を生活困窮者に無償で配布するフードバンクやこども食堂などを運営するボランティア団体やNPO法人が危機的状況に陥っているほか、医療機関や福祉施設の経営も圧迫しており、社会に与える影響は深刻さを増しています。

米価高騰の一因には民間在庫量の落ち込みがあげられますが、今年6月末の民間在庫量は昨年よりさらに少ない見通しとなっており、今秋の端境期も逼迫が懸念されています。米不足の根本には、需要が毎年減ることを前提にして生産削減を農家に押し付けるとともに、米価の下落を市場任せにしてきたことで、米農家の離農によって生産体制が弱体化してきたためです。

よって、政府並びに国会は、備蓄米の活用を含めて米の供給と価格の安定に政府が責任を持つことを明確にするとともに、農家が安心して増産に励める条件整備を行えるよう、緊急の対応を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和7年6月 日

函館市議会議長 金 澤 浩 幸